

## G20省エネルギー行動計画（骨子）

### 1. 概要

（1）省エネルギー（エネルギー効率）は、G20各国にとって優先事項。

（2）G20省エネルギー行動計画（以下、行動計画）は、省エネルギーに関する自発的な協力を強化するための現実的な計画。各国は、国内の優先事項に最も適した優先活動項目を自由に選択することにより、知識、経験などを共有することが可能。

（3）行動計画は、省エネルギーに関する6分野の優先活動項目について記載。3分野はG20主導の新たな活動、他の3分野は、既存の国際協力を拡大・強化するための活動。行動計画は、将来の協力が見込まれる活動分野についても言及。

（4）国際省エネルギー協力パートナーシップ（IPEEC）は、行動計画下における協力を支援。IPEECは、必要に応じ、国際エネルギー機関（IEA）等の専門的な国際機関と協力。

（5）IPEECは、2015年以内に、エネルギー持続可能性作業部会を通じて、作業計画に基づく協力の進捗状況などに関する報告をG20に対して行う。

### 2. 優先活動項目

#### （1）新たな活動

- 車両：大型車のエネルギー効率改善（米国）
- 製品：ネットワーク機器の省エネ（英国、IEA）
- ファイナンス：省エネ部門への投資拡大（メキシコ）

#### （2）既存の国際協力を加速するための活動

- 建築：評価基準とパフォーマンスの向上（米国、豪州）
- 産業部門のエネルギー管理（IPEECの関連作業部会）
- 発電：高効率で低炭素な発電技術の共有（日本）
  - IPEECの下部組織であるエネルギー効率向上に関する国際パートナーシップ（GSEP）の発電作業部会を通じて、温室効果ガスの排出削減にも資する、高効率で低炭素な発電技術の共有を図る。

### 3. 将来検討される活動項目

- 省エネルギー推進機関のネットワーク構築（日本）
  - 各国の既存の省エネルギー推進機関との間で広範なネットワークを構築し、省エネルギー推進のためのベストプラクティスの共有などを行う。
- エネルギー効率に関するデータシステムの構築（IEA、仏）

（注：上記2. 及び3. の括弧内はリード国を指す）

（了）